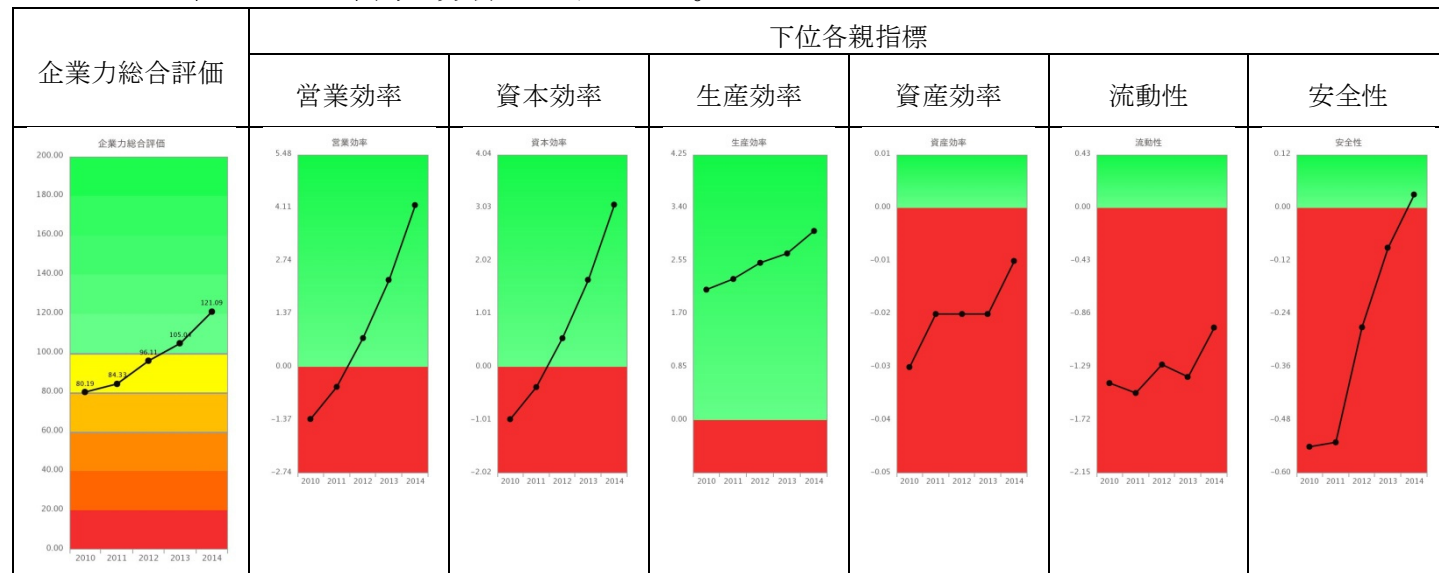




今回は、太平洋セメント(株)を分析してみました。「セメントとコンクリートとモルタルの違い」が分からない方も「化学記号」までもご存じの方も、このセメント会社の経営分析をお楽しみください。

2010～2014年までの5年間を分析してみました。



企業力総合評価は、80.19P→84.33P→96.11P→105.04P→121.09P と推移しています。見事な回復ぶりですね。下位の親指標はすべて改善トレンドです。

営業効率（儲かるか指標）は2010～2011年は赤信号領域でしたが、その後見事に回復しました。資本効率（株主評価指標）も同様です。

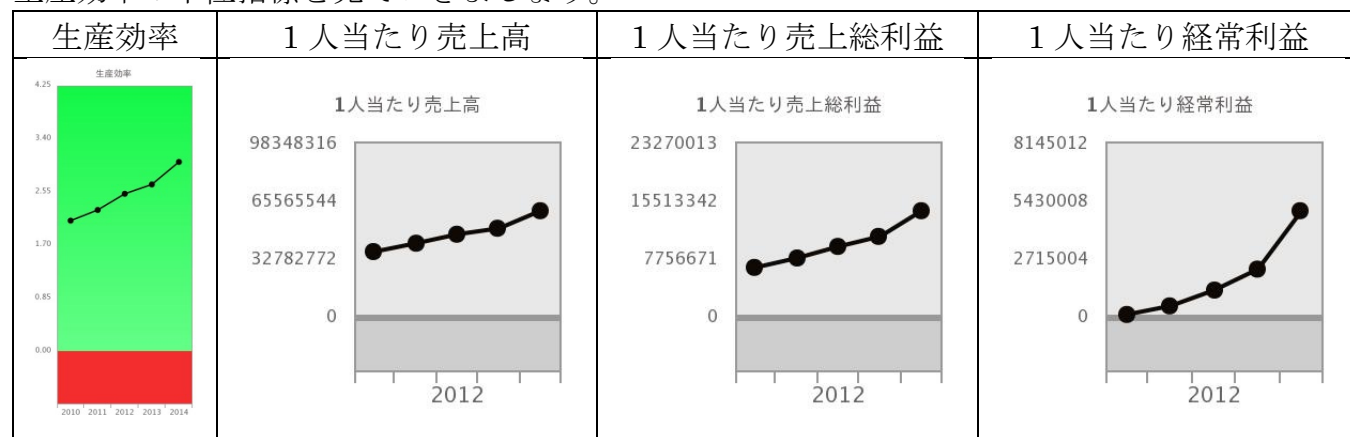
生産効率（人の利用度）は青信号領域を改善トレンドです。

資産効率（資産の利用度）は、通期赤信号領域、2011～2013年の踊り場があるものの、改善トレンドです。

流動性（短期資金繰り指標）は、通期赤信号領域を改善トレンドです。

安全性（長期資金繰り指標）は、赤信号領域から改善し2014年に青信号領域へ顔を出しました。

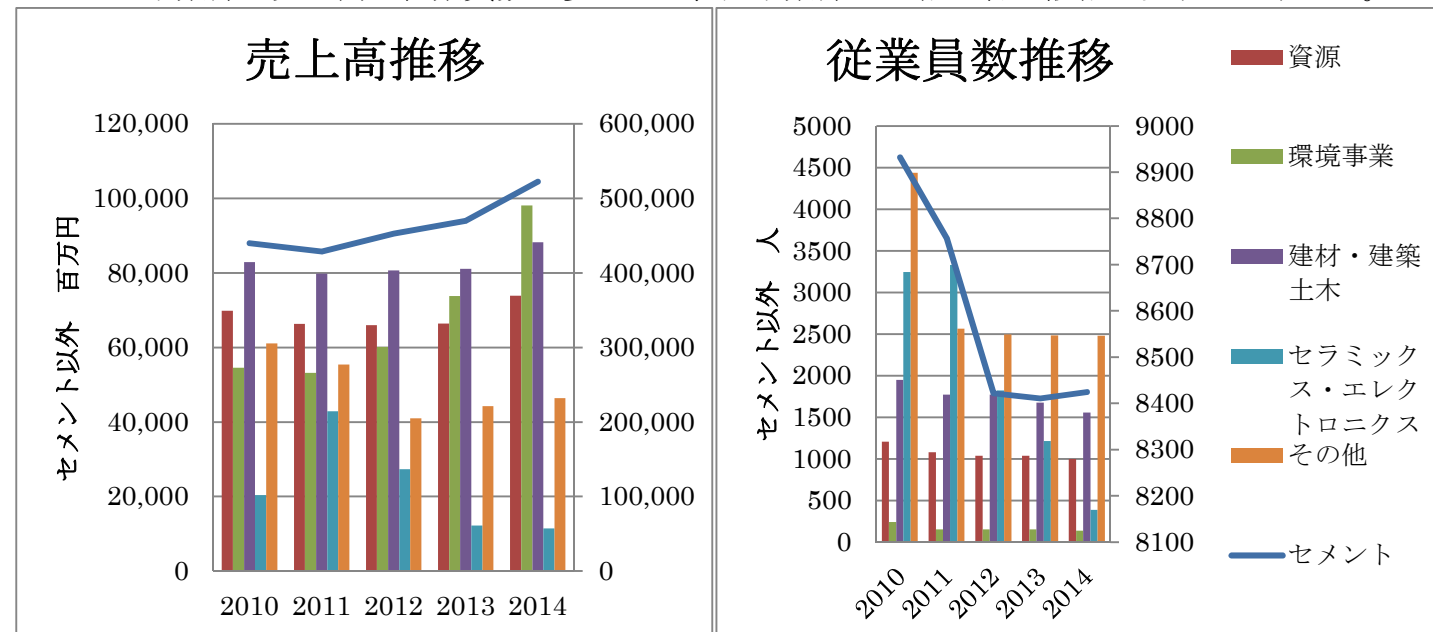
生産効率の下位指標を見ていきましょう。



従業員数は、20,347人→17,912人→15,949人→15,230人→14,240人と推移しています。2010年から4年間で6127人30%も人員削減しています。

売上高が気になりますね。セグメント別売上高の推移、セグメント別従業員推移を見てみましょう。

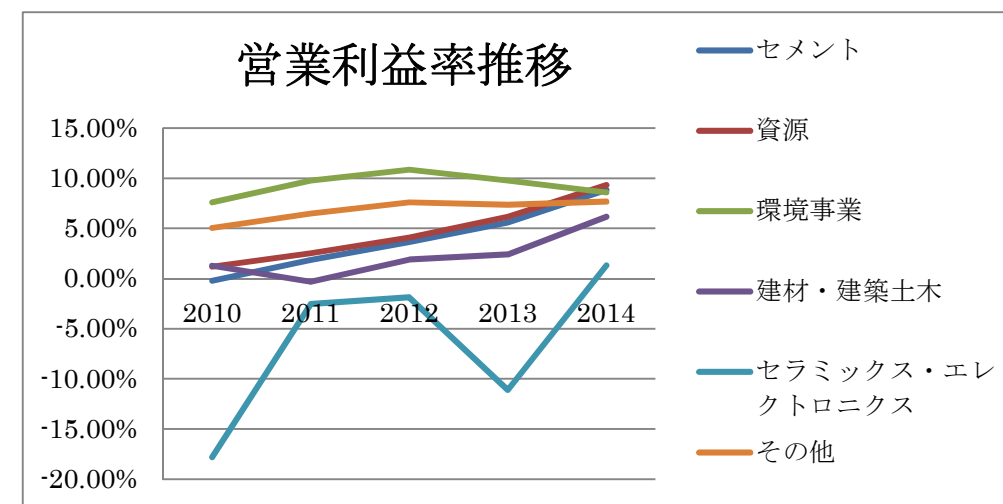
セメント事業部の売上高・従業員数が多いので、同事業部は2軸・右の縦軸を参照して下さい。



売上高はセラミックス・エレクトロニクス事業部を除き増収です。（事業部は2014年に撤退しました。）

従業員数は、全ての事業部で減少しています。こうなると売上高利益率を確認しなければなりません。

営業効率をセグメントに分解して見てみましょう。売上高営業利益率のセグメント別推移です。



環境事業は2010年から同社のホープ的存在、セラミックス・エレクトロニクス事業はお荷物的存在。

セラミックス・エレクトロニクス事業の撤退は理解しやすいですが、通常資源を集中させる環境事業の人員削減は驚きます。（従業員数241人→137人）

セグメント別の1人あたり売上高を見てみましょう。環境事業は226,414千円→715,686千円です。

	2010	2011	2012	2013	2014
セメント	49,242,387	48,988,352	53,755,521	55,860,896	61,996,914
資源	57,879,768	61,486,085	63,679,537	64,121,622	73,828,000
環境事業	226,414,938	347,464,052	395,848,684	478,961,039	715,686,131
建材・建築土木	42,549,795	45,042,914	45,553,672	48,344,663	56,632,627
セラミックス・エレクトロニクス	6,281,885	12,874,700	15,023,052	10,071,664	29,579,897
その他	13,767,012	21,631,538	16,422,846	17,824,477	18,713,825

まとめ

人員削減や事業撤退等、経営の中でも、“大胆さ”の求められる選択は功を奏し、企業力総合評価は右肩上がりになりました。今後の経営は今までと逆で、“繊細さ”が求められることになるでしょう。こんな時こそ、精緻な分析のできるSPLENDID21をご利用頂きたいものです。

お問合せ先 SPLENDID21に関するお問合せは下記までお願いいたします。

〒840-0015 佐賀県佐賀市木原二丁目6番5号 税理士法人 諸井会計

tel 0952-23-5106 fax 0952-22-2888 ① info@moroi.co.jp URL <http://www.moroi.co.jp/>